



千里もぐら新聞

9号
2026年
8月

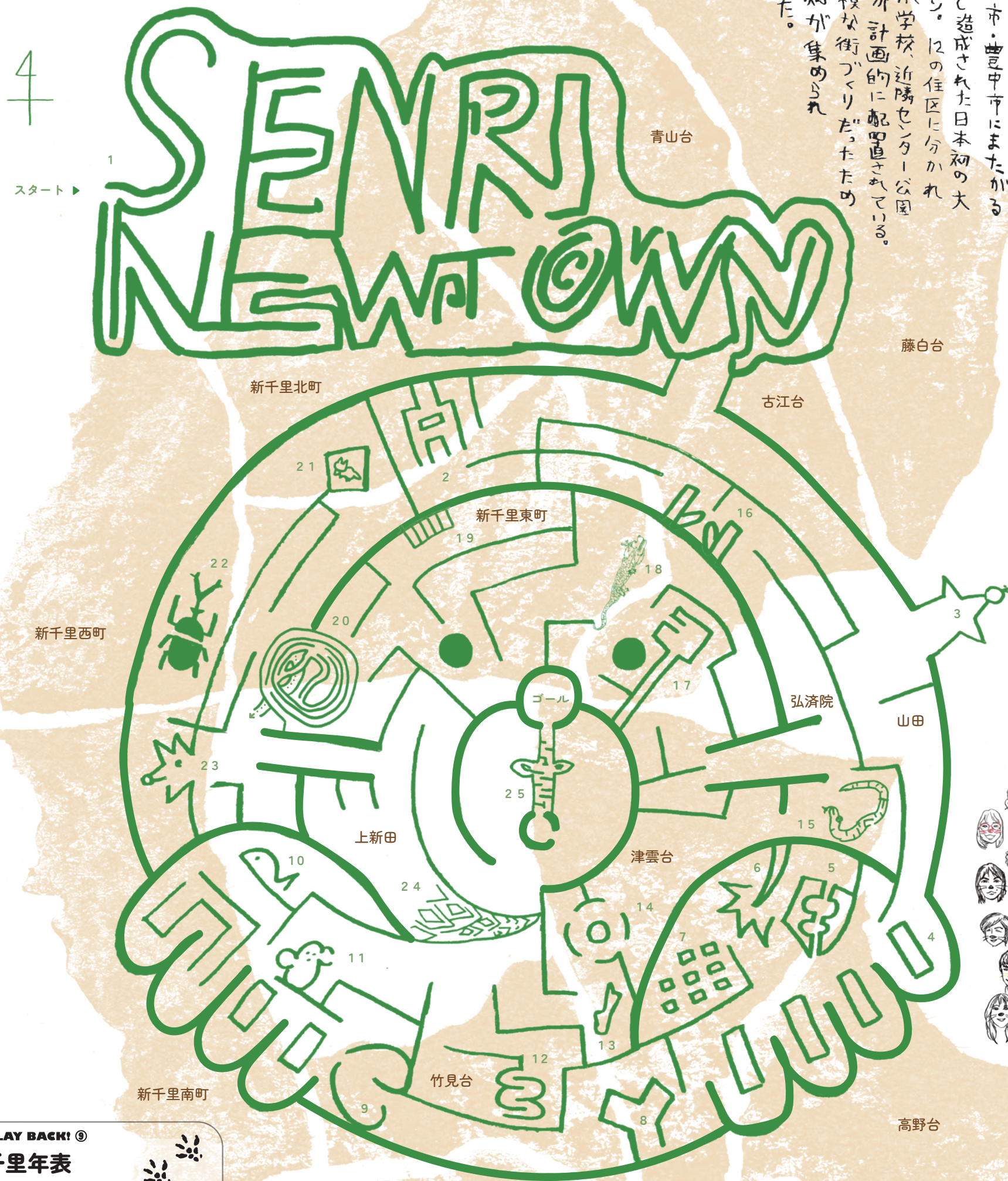
千里ニュータウン Senri New Town

大阪の北部、吹田市・豊中市にまたがる千里丘陵を開発し造成された日本初の大規模ニュータウン。12の住区に分かれ、各住区ごとに小学校、近隣センター公園、医療施設などが計画的に配置されている。類のない大規模な街づくりだったため、国内外の英知が集められた。

約60年前に大阪に誕生した日本初の大規模ニュータウン。
当時まちづくりの実験の場であった千里をフィールドに、新しい共同体におこった出来事にでています。

この迷路は **Satori** ニュータウン人と
豊中吹田さ **Satori** 千里にする達友制
街の阪大ときくんという千人でいる作

※無断転記・複製・二次利用禁止



調査員
井藤里香 角谷穂乃香
うー 辰巳雄基
大西達也 内藤麻子
内田好美 中川なつみ
kazumi 仲平郁代
川瀬亘 中村幸子
空閑綾香 西野侑子
空閑悠姫 長谷川かおり
楠田恭子 福田美樹
楠田雅紀 山城大督
齋木健司 山中康子
ユウカリ



題字 長谷若菜
テンプレートデザイン 仲村健太郎
街のイラスト 中川なつみ
似顔絵 似顔絵
調査団: 楠田恭子 / 話者: うー
版画 内田好美 漫画 大西達也

発行 (一財)千里パブリックデザイン

協力 千里市民フォーラム

後援

吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議

助成

令和8年度芳泉文化財団助成事業

PLAY BACK! ⑨

千里年表

1900's

- 1972年 セルシー開館
- 1973年-1979年
- バクバクコンテスト(TV番組)
- 千里セルシーホールにて公開収録
- 1977年 セルシー内にダイエーがオープン

2000's

- 2002年 セルシー内に千里中華街オープン
- 2007年 千里中華街閉店
- FM千里開局 / 千里セルシー広場
- 数々の公開録音やイベントを行う
- 2014年 千里セルシーシアター閉館
- 2018年 大阪北部地震の影響で当面休館 (その後ダイエーを除き順次営業再開)
- 2019年 セルシー閉鎖
- 2025年 セルシーの解体工事着工

次号につづく...

セルシー

開館時のフロア案内
※千里タイムズ第382号
昭和47年11月10日発行
広告より

B1

<セルシー横丁
<セルシーシアター

1F

<バザータウン
<リビングゾーン
<インフォメーション
<スポーツゾーン
<モーターショー
<コンピューター式
<インドアゴルフ GOLF-IN
<セルシーひろば
<エキシビジョンホール
<コミュニティロビー

2F

<セルシーボウル(ファミリーレーン)
<セルシーインドアプール
<セルシーゲームコーナー
<アスレティッククラブ
<スミミングスクール

3F

<セルシーボウル(会員専用)
<セルシーランド
<セルシー・レジャープール

4F

<セルシー文化教室
<アスレティッククラブ
<大会専用のセルシーボウル

5F

<セルシースカッシュ
<セルシーホール

6F

<ショーレストラン

長いこと千里ニュータウンに住んでるんですが、66歳まで働いていたので、千里ニュータウンのこと全然知らなかったんです。仕事を辞めてから調べてみたら、いろいろ面白いことが分かってきて、これを共有できる人たちがいるんなら、一緒に活動してみたいなと調査団に入りました。例えば勝尾寺街道というのが千里ニュータウンの中を走ってるんですが、自分の住んでる団地の下を走ってる。ということは昔、チョンマゲをつけた人たちがこの下を歩いて参詣に行ってたんだと思ったら面白いんです。もぐら調査団は若い人たちが多くて、そのパワーをちょっとでももらえたらと思います。調査員：齋木さんからの一言



縄張り争い

千里 アーカイブス
としょかん

娯楽の殿堂「セルシー」誕生

▲ 出典 千里タイムズ 383号(昭和47年11月17日)

千里こどもカーニバル

▲ 出典 千里 54号(昭和44年5月1日)

[illegible]

▲ 出典 千里山タイムス 67号(昭和40年6月13日)

黒ん坊第1位に安芸君
古江台で白黒コンクール。

▲ 出典 千里山タイムズ 109号(昭和41年9月5日)

千里ニュータウンでは、こどもたちがどのように遊んでいたのか。開発が始まってすぐの街は未開発の部分もあり、たくさん冒険があった様子。公園の遊具で遊ぶというよりも、自分たちで秘密基地を作ったり、その場にあるものごとで遊びを作り出していたお金を払って遊ぶ「レジャー」は近年になってからの遊びかもしれない。

●番外お知らせ●只今もぐら調査団の活動をまとめた大新聞を制作中。だんだんと完成に近づいて来ました。乞うご期待

©大西達也

団地には当時焼却炉があつて、燃えるもんはそこで燃やしてました。子どもだけでは燃やしたらあかんで、黙つて色々燃やしたけど、何でやつたの？ 登ったんだ？ なんかある日なんかその上にとらふたら靴の裏側が溶けてきたから、何も考えず乗つてくるから溶けるとか思つてなくて降りてから、あ、そういふことか。と分かります。た。靴の話でいうと、僕小学校行く時、雨降つた。絶対長靴履いてたんで、す。道路もまだ舗装されてへんと、ところどころたか雨降つたらドロドロになる。親が「長靴履いて行くなさい」と言うんで、帰つてきたら長靴の中心にシヨビシヨ。何のため？ に長靴履いてんの！ 溝が溢れて、ザーザーと流れて、道じゃありません。と、入った。してました。ほんで長靴を試すんです。「いける、いける、あー中に入った」水ザーと出て出して、溜くちや

くちやさせながら帰つてました。樫ノ木公園やったかな。そこはいつも雨が降ったらぬかるんでたんですが、長靴履いて遊びに行ったら浅い長靴やから、ぬかるみにハマって出られへんなって、めっちゃビビった。僕が助けに行くわって言うても「みんな同じようになるぞ」って友達が言うから、おかん呼んでくるって行こうとしたら友達が「僕が呼んでくから弟の横におったげて」と言ってくれたんです。子どもではどうしようもなかったから親呼びに行ったらやろな。靴抜こう思っても脱げてまうし、脱げたら靴なくなるし、おかんに怒られるし、おさん時雨いっぱい降ったんやろな、いつも以上にぬかるみになってた。なんか雨降ったら必ず長靴履いてました。でもそれが万博の前、1年ぐらいで全部綺麗に舗装されて、ぬかるみも長靴履くことも少なくなっただけです。

1966年6才の時
高槻市から青山台へ
藤本さんから聞いた話

2026.2.17

最新号はこちら



千里パブリックデザインとは・・・日本初の大規模ニュータウン・千里が紡いできた貴重な文化的資産、ソフトを再発見・継承し、未来のまちづくりに生かすため活動する市民財団(senri-pdf.org)

